

12月定例記者会見を開催

12月16日、支払基金本部において12月定例記者会見を開催し、冒頭、再任となった河内山哲朗理事長があいさつをしました。その概要は、以下のとおりです。

理事長になって4年が経過した。この間、「サービス向上計画」の実施時期と重なっており「審査の充実」と「効率的な業務運営」という大きな二つの柱を目標として仕事をしてきた。

電子レセプトは95%を超え、より品質の高い審査を行うために、幅広くコンピュータチェックをかけている。今後はさらにITを活用し、審査実績の分析評価を進め、さらに保険者の信頼を勝ち得る審査を行っていきたい。

また、コストの削減、業務の効率化については、これまで同様、現場のアイデアや経験を業務改善に活かせるよう取組みを強化していくとともに、膨大な作業を事故やミスを起こさず完遂できる体制の整備や、業務運営にも力点を置いて気を引き締めて取り組んでいく。

その一方で、こうした取組みや審査・支払を通じて国民皆保険を支えるという支払基金の役割は、公開の場で積極的に説明をしてこなかった。そうしたこともあって、平成25年2月の東京での開催を皮切りに、大阪、仙台で「保険診療と審査を考えるフォーラム」を開催しており、第4回を来年1月に福岡市で開催する。

このフォーラムや支払基金の本部、支部における報道機関の方との懇談会を通じて、より多くの方に理解される支払基金を築いていくために、引き続き、開かれた支払基金の実現に努めていく。

支払基金の果たすべき二大使命は、「適正な審査」と「迅速な支払」である。時代は変化し、ITは進化するが、仕事の原点を忘れずに、今後も、保険者や保険医療機関をはじめとする国民の皆様の要請に応え、信頼される支払基金を目指していく。

引き続き、以下の事項の発表を行いました。

- 1 [公益代表役員の選任の認可について](#)
- 2 [「支払基金サービス向上計画」の第4次フォローアップ（平成26年度）について](#)
(資料:「支払基金サービス向上計画」の第4次フォローアップ（平成26年度）【全文】)
(資料:「支払基金サービス向上計画」の第4次フォローアップ（平成26年度）【概要】)
(資料:「支払基金サービス向上計画」の第4次フォローアップ（平成26年度）【ポイント】)
- 3 [特別審査委員会審査委員の委嘱について](#)
- 4 [支払基金における審査状況（平成26年10月審査分）について](#) (資料)
- 5 [特別審査委員会の取扱状況（平成26年12月審査分）について](#) (資料)
- 6 後期高齢者支援金等の収納状況
(平成26年度第8期（11月）分）について (資料)



社会保険診療報酬支払基金

— 基本理念・私たちの使命 —

私たちは、国民の皆様信頼される専門機関として、診療報酬の「適正な審査」と「迅速な支払」を通じ、国民の皆様にとって大切な医療保険制度を支えます。

< 本件に関するお問い合わせ >

社会保険診療報酬支払基金 広報室広報課 E-mail:honbu@ssk.or.jp

TEL 03-3591-7441 内線(751・753) FAX : 03-3591-6708 <http://www.ssk.or.jp/>